

- (ビデオ) (ワークショップ)、第 21 回 JDDW13、(東京、2013. 10. 12)
- 66) 工藤進英、早期大腸癌精密診断のための内視鏡学 (司会)。第 68 回大腸肛門病学会 (東京、2013. 11. 15)
- 67) 工藤進英、早期大腸癌診断のための内視鏡 (シンポジウム) (座長)、第 68 回大腸肛門病学会、(東京、2013. 11. 15)
- 68) 工藤進英、当院 (松島クリニック) における大腸内視鏡前処置法の変遷と今後の展望 (高橋敬二) (ランチョンセミナー座長)、第 68 回大腸肛門病学会、(東京、2013. 11. 16)
- 69) 工藤進英、いかに海外で活躍するか、いかに海外に留学するか (特別発言)、第 75 回日本臨床外科学会、(名古屋、2013. 11. 21)
- 70) 工藤進英、教育講演：大腸超音波内視鏡の変遷 (司会)、第 31 回日本大腸検査学会総会、(東京、2013. 11. 29)
- 71) 工藤進英、早期大腸癌の新しい診断と治療：Endocytoscopy、第 12 回国際消化器内視鏡セミナー (イブニングセミナー)、(横浜、2013. 3. 9)
- 72) 工藤進英、特別講演：陥凹型早期大腸癌をめぐる知見と展望、第 23 回大腸 II c 研究会、(東京、2013. 9. 15)
- 73) 工藤進英、早期大腸癌診断の歴史と進歩、第 10 回関東甲信越内視鏡研究会、(東京、2013. 10. 26)
- 74) 工藤進英、新腸管洗浄剤モビプレップの使用感について、第 26 回早期大腸癌研究会 (東北 II c 研究会)、(仙台、2013. 11. 9)
- 75) 斎藤 博、がん検診のエンドポイント、第 52 回日本消化器がん検診学会総会、013. 6. 8. 仙台。
- 76) 斎藤 博、死亡率減少の成果を上げるためのがん検診のあり方、日本消化器がん検診学会第 52 回日本消化器がん検診学会総会第 28 回医師認定研修会、2013. 6. 8. 仙台。
- 77) 斎藤 博、大腸がん検診の現状と展望、日本消化器病学会東海支部第 118 回定例第 29 回教育講演、2013. 6. 15. 浜松。
- 78) 斎藤 博、消化器がん検診のあり方と高齢者における考え方、第 15 回日本消化器病学会、2013. 6. 16. 弘前。
- 79) 斎藤 博、大腸がん検診及び大腸内視鏡検査のエビデンス、第 23 回大腸 II c 研究会、大腸 II c 研究会、2013. 9. 15. 東京。
- 80) 斎藤 博、わが国の大腸がんの成り立ちとその目指すもの、JDDW2013、第 51 回日本消化器がん検診学会大会、3. 10. 9. 東京。
- 81) 斎藤 博、便鮮血検査の意義—過去半世紀の変遷と将来展望、第 31 回日本大腸検査学会総会、2013. 11. 29. 東京。
- 82) 斎藤 博、科学的根拠に基づいたがん検診について、第 20 回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会、2013. 11. 19. 東京
- 83) 石田文生、第 17 回 AMG 内視鏡外科フォーラム 特別講演 I 「腹腔鏡下大腸手術・各領域リンパ節郭清と手術手技 (Reduced port surgery を含めて)」、2013. 5. 18、新宿
- H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)
1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(表1)

# モニタリング結果一割付状況

2013.8.31モニタリング時点

## ◆割付状況に関する確認

	対照群	介入群
全体	2798	2795
性別(男性/女性)	1,288/1,510	1,306/1,489
平均年齢	60.70	60.75
大腸がん検診受診歴あり	2,425人(86.7%)	2,361人(84.5%)
3か月以内の自覚症状 <sup>(※)</sup> あり	636(22.7%)	620(22.2%)
大腸がん家族歴あり	447(16.0%)	442(15.8%)

※自覚症状の内容  
「痔」「出血」「便が細い」「お腹が痛い」「便に粘液」「便秘と下痢交互」「すっきりしない」「便の回数が多くなった」  
(秋田県総合保健事業団 大腸がん検診問診票より)

(表2)

# モニタリングデータ(精度管理)

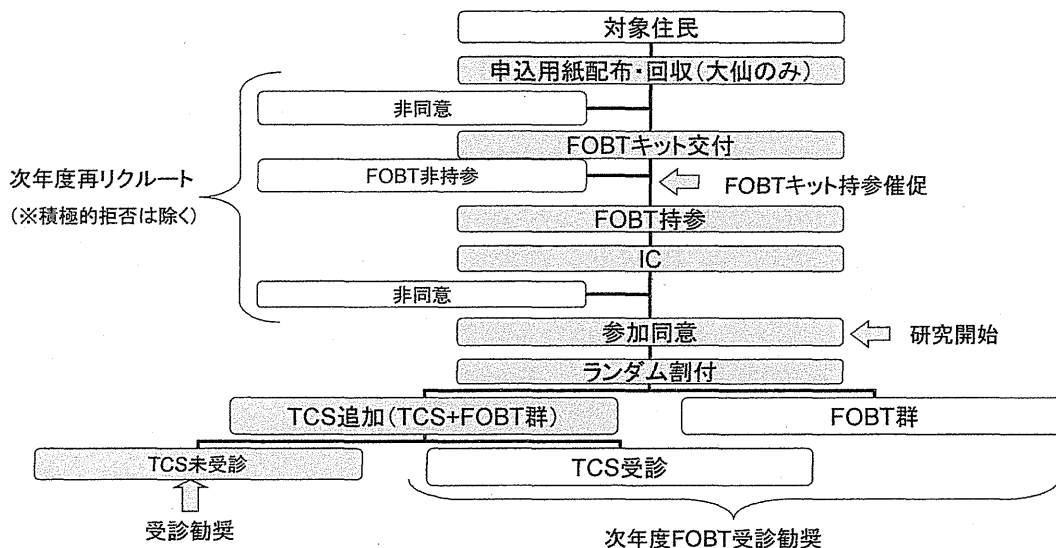
(中央DCモニタリングレポートより抜粋 2013.8.31時点)

	H21参加者	H22参加者	H23参加者		H24参加者		H25参加者		Total
参加者数	仙北1669	仙北822	1256		1266		596(実施中)		5609
			仙北362	大仙894	仙北146	大仙1120	仙北53	大仙543	
TCS検診受診率	94.5% (789/835)	91.0% (373/410)	94.5% (172/182)	93.5% (417/446)	90.3% (65/72)	93.6% (523/559)	実施中	実施中	93.4% (2339/2504)
FOBT検診陽性者精検受診率	H21:78.4% (40/51) H22:51.9% (42/81) H23:83.1% (54/65) H24:38.0% (27/71) H25:実施中	H22:44.8% (13/29) H23:80.5% (33/41) H24:70.0% (21/30) H25:実施中	H23:54.5% (6/11) H24:69.2% (9/13) H25:実施中	H23:75.9% (22/29) H24:58.1% (25/43) H25:実施中	H24:100% (10/10) H25:実施中	H24:29.7% (11/37) H25:実施中	実施中	実施中	61.3% (313/511)
研究参加2年目以降FOBT検診受診率	H22:90.4% (1508/1669) H23:86.9% (1450/1669) H24:86.3% (1441/1669) H25:実施中	H23:81.3% (668/822) H24:79.9% (657/822) H25:実施中	H24:74.6% (270/362) H25:実施中	H24:92.7% (829/894) H25:実施中	H25:実施中	H25:実施中	-	-	86.3% (6823/7907)
研究参加2年目以降健康状態に関するアンケート回収率	H22:83.3% (1390/1669) H23:86.8% (1448/1669) H24:84.4% (1409/1669) H25:実施中	H23:81.5% (670/822) H24:76.6% (630/822) H25:実施中	H24:86.5% (1086/1256) H25:実施中		H25:実施中		-	-	83.9% (6633/7907)

(図1)

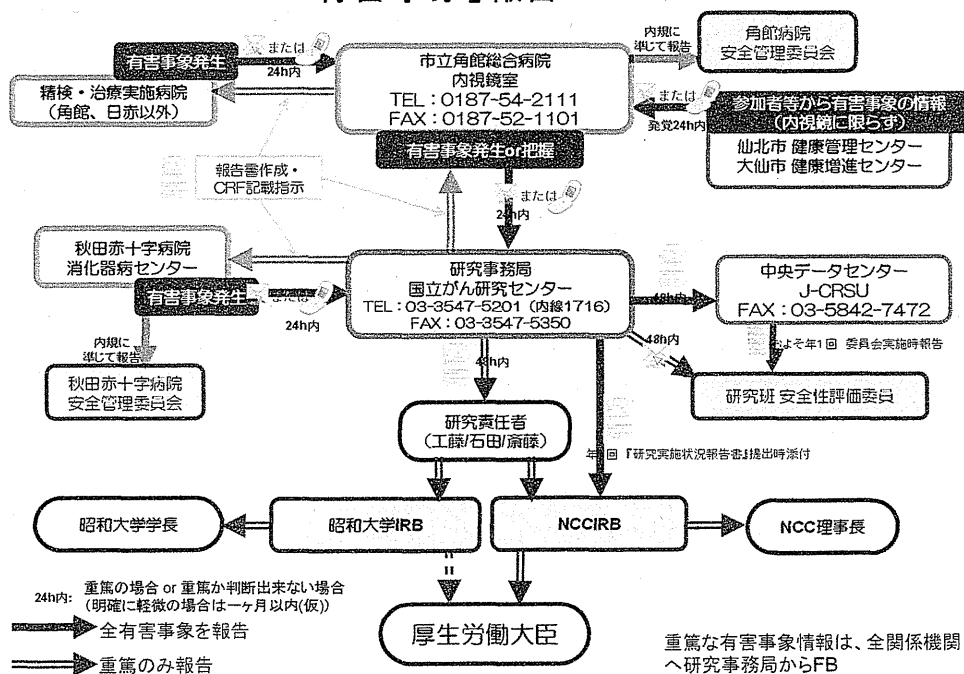
「消化器内視鏡検査等による新しいがん検診の開発と有効性評価に関する研究」

# リクルート・ランダム割付フロー

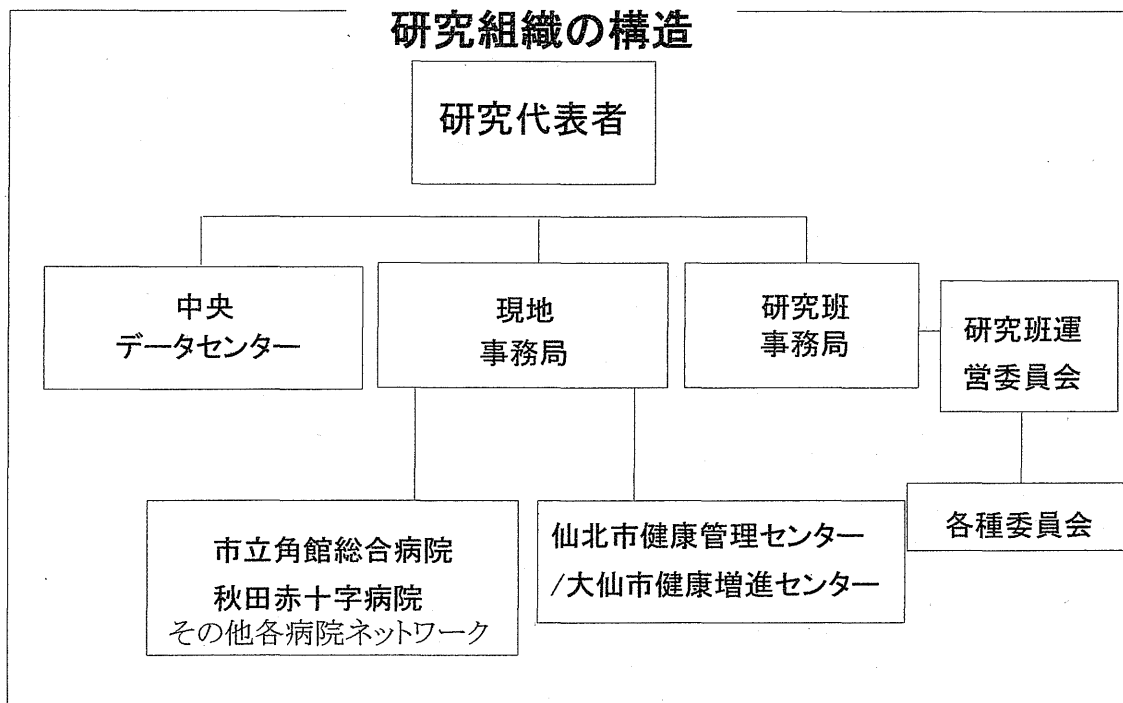


(図2)

# 「有害事象」報告フロー



(図3)



(図4)

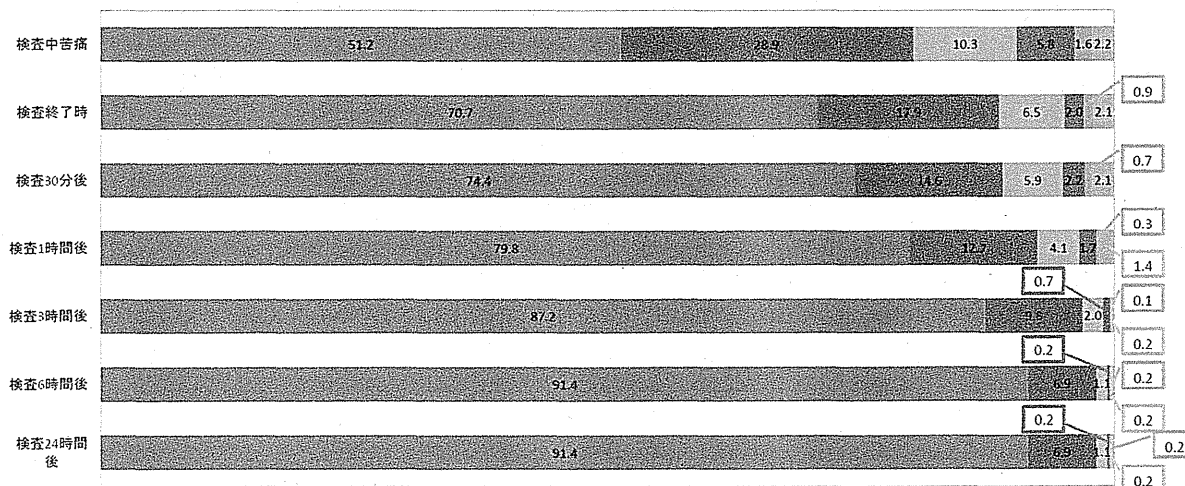
## モニタリング結果—苦痛評価

2013.8.31時点

◆大腸内視鏡検査による苦痛の評価結果(N=2,269)

図. 苦痛の評価

□ 全く無い □ 少し痛みがある □ 中程度の痛みがある □ 大きな痛みがある □ 激しい痛みがある □ 覚えていない



研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
工藤進英.	超拡大内視鏡の臨床応用の可能性	Annual Review 消化器		35-41	2011
工藤進英、宮地英行、池原伸直、浜谷茂治、小林泰俊、若村邦彦、和田祥城、西脇裕高、森悠一、山村冬彦、大塚和朗.	腸 SM 癌の取り扱いと追加腸切除の適応—大腸癌治療ガイドラインの検証とリンパ節転移リスク因子の探索的解析	消化器内科	52(2)	35-141	2011
工藤進英、森悠一、三澤将史、渡邊大輔、小形典之、工藤豊樹、畑英行、小林芳生、西脇裕高、若村邦彦、和田祥城、宮地英行、池原伸直、山村冬彦、大塚和朗.	大腸拡大内視鏡開発の歴史	Medical Technology	39(1)	74-77	2011
工藤進英、南ひとみ、井上晴洋、田中淳一、石田文生、遠藤俊吾.	Natural orifice trans-endolumenal surgery ; NOTES.	手術	65(3)	281-287	2011
工藤進英.	進化する大腸内視鏡挿入法—軸保持短縮法における laterally sliding technique	消化器内視鏡	23(2)	274	2011
工藤進英.	私の研究履歴書—陥凹型早期大腸癌の発見から Endocytoscopy まで	G. I. Research	19(4)	85-92	2011
工藤進英.	特集—NBI・FICE 拡大による大腸腫瘍診断：読影所見の統一を目指して(序説)	INTESTINE	15(4)	303-304	2011
工藤進英.	直腸癌治療の最近の動向—早期直腸癌に対する内視鏡治療	日本外科学会誌		304-308	2011
工藤進英.	NBI・FICE 拡大による大腸腫瘍診断—読影所見の統一を目指して(座談会：特集)	INTESTINE	15(4)	363-382	2011
工藤進英.	特集—わが国における消化器外科の現況と今後	日医雑誌	140(8)	1655	2011

工藤進英、森 悠一、池原伸直、若村邦彦、久津川誠、和田祥城、工藤豊樹、宮地英行、山村冬彦、大塚和朗、井上晴洋、浜谷茂治.	Expert に学ぶ画像診断— Endocytoscopy.	臨床外科	66(13)	1652-1660	2011
工藤進英、三澤将史、森 悠一、小形典之、若村邦彦、林 武雅、和田祥城、工藤豊樹、宮地英行、池原伸直、大塚和朗.	EMR (分割 EMR) の実際とピットフォール	大腸癌 FRONTIER	4(3)	49-53	2011
Kudo S, Wakamura K, Ikehara N, Mori Y, Inoue H, Hamatani.	S : Diagnosis of colorectal lesions with a novel endocytoscopic classification.	a pilot study	43(10)	869-875	2011
雑賀公美子、斎藤博、大内憲明、祖父江友孝.	乳癌死ひとりを回避するのに必要な日本人女性のマンモグラフィ検診必要対象者数	日本乳癌検診学会誌	20(2)	21-126	2011
斎藤 博.	「大腸がん検診の今」増え続ける罹患率と低迷する受診率	ナーシングビジネス	5(8)	696-697	2011
斎藤 博、町井涼子.	大腸がん検診の現況と問題点	日本臨牀	69(3)	631-638	2011
関 愛、平井啓、長塚美和、原田和弘、荒井弘和、狭間玲子、石川善樹、濱島ちさと、斎藤 博、渋谷大助.	乳がん検診に対する態度の測定	厚生統計協会	58(2)	11-20	2011
斎藤 博、町井涼子、高橋則晃、雑賀公美子.	スクリーニングは有効か	内科	108(5)	759-766	2011
Machii R, Saito H.	Time Trends in Cervical Cancer Screening Rates in the OECD Countries	Jpn J Clin Oncol	41(5)	731-732	2011
Machii R, Saika K, Higashi T, Aoki A, Hamashima C, and Saito H.	Evaluation of feedback interventions for improving the quality assurance of cancer screening in Japan: Study design and report of the baseline survey.	JJCO	42(2)	96-104	2012

佐川元保、齋藤博、町井涼子、中山富雄、祖父江友孝、濱島ちさと、垣添忠生、薄田勝男、相川広一、上野正克、町田雄一郎、田中良、佐久間勉.	がん検診のためのチェックリスト」を用いた精度管理の方法—検診の精度管理を行う側への精度管理の一手法の定時の試み—	日本がん検診・診断学会	19(2)	145-155	2011
齋藤博、町井涼子、高橋則晃、雑賀公美子.	がん検診のあり方—現状と展望—大腸がん	癌と化学療法	39(1)	13-18	2011
浜谷茂治、工藤進英、宮地英行、池原伸直、大塚和朗、日高英二、石田文生、遠藤俊吾、田中淳一.	「浸潤距離 1000 $\mu$ m」の問題点・矛盾点 (課題)	INTESTINE	16	137-141	2012
日高英二、石田文生、遠藤俊吾、田中淳一、工藤進英.	超高齢者 (85 歳以上) 大腸癌手術例における術後合併症に関する危険因子の検討	外科	74	413-417	2012
工藤進英、渡邊大輔、池原伸直.	大腸癌の内視鏡診断・治療	日本大腸検査学会雑誌	29 (2)	1-12	2012
工藤進英、池田晴夫、久津川誠、児玉健太、大塚和朗.	炎症性腸疾患関連腫瘍の拡大内視鏡検査	日本臨牀	70 (1)	523-527	2012
工藤進英.	下部消化管内視鏡検査	日本医師会雑誌	141 (特別号 (2))	84-87	2012
工藤進英、三澤将史、和田祥城.	大腸腫瘍の拡大内視鏡診断.	消化器内視鏡	24(4)	582-587	2012
工藤進英、久行友和.	平坦・陥凹型早期大腸癌.	大腸癌 FRONTIER	5(4)	56-60	2012
工藤進英.	大腸 SM 癌浸潤距離 1,000 $\mu$ m をめぐる現状と課題. 序説	INTESTINE	16 (2)	93-96	2012
工藤進英、田中信治、鶴田修、味岡洋一.	大腸 SM 癌浸潤距離 1,000 $\mu$ m をめぐる現状と課題	INTESTINE	16 (2)	169-184	2012
工藤進英.	転移をきたす小さな大腸癌—本当に悪性の大腸癌とは？. 序説	INTESTINE	16(4)	297-298	2012



工藤進英、須藤晃佑.	側方発育型大腸腫瘍 (laterally spreading tumor ; LST)	胃と腸	47 (5)	771-772	2012
工藤進英、豊嶋直也、須藤晃佑、林靖子、三澤将史、森 悠一、工藤豊樹、児玉健太、久行友和、林 武雅、若村邦彦、和田祥城、宮地英行、山村冬彦、濱谷茂治.	右側大腸に好発する腫瘍の内視鏡的特徴	胃と腸	47 (13)	1965-1973	2012
浜谷茂治、工藤進英、宮地英行、池原伸直、大塚和朗、日高英二、石田文生、遠藤俊吾、田中淳一.	病理側の問題点-浸潤距離測定の現状と問題点	INTESTINE	16 (2)	137-141	2012
向井俊平、工藤進英、遠藤俊吾、竹原雄介、森 悠一、宮地英行、日高英二、石田文生、田中淳一.	2cm 以下の進行大腸癌の臨床病理学的検討	INTESTINE	16 (4)	347-351	2012
大塚和朗、池田晴夫、久津川誠、児玉健太、工藤進英.	拡大内視鏡はサーベイランスに有効か	消化器内視鏡	24 (12)	1863-1868	2012
工藤進英.	安全かつ効率的な大腸 ESD を目指して	INTESTINE	17 (1)	5-6	2013
斎藤 博、町井涼子、高橋則晃、雑賀公美子.	がん検診のあり方—現状と展望—大腸がん	癌と化学療法	39 (1)	13-18	2012
斎藤 博.	教科書には載っていない臨床検査 Q&A、便潜血検査による大腸がんスクリーニングの有用性と限界について教えてください.	臨床検査	56 (11)	1250-1252	2012
Lambert R, Saito H, Lucas E, Sankaranarayanan R.	Survival From digestive cancer in emerging countries in Asia and Africa.	Eur Gastroenterol Hepatol	J24 (6)	605-612	2012

Ishikawa Y, Hirai K, Saito H, Fukuyoshi J, Yonekura A, Harada K, Seki A, Shibuya D, Nakamura Y.	Cost-effectiveness of a tailored intervention designed to increase breast cancer screening among a non-adherent population: a randomized controlled trial.	BMC Public Health	12	760-767	2012
Machii R, Saika K, Higashi T, Aoki A, Hamashima C, and Saito H.	Evaluation of feedback interventions for improving the quality assurance of cancer screening in Japan: Study design and report of the baseline survey.	Jpn J Clin Oncol	42(2)	96-104	2012
Harada K, Hirai K, Arai H, Ishikawa Y, Fukuyoshi J, Hamashima C, Saito H, Shibuya D.	Worry and Intention Among Japanese Women: Implications for an Audience Segmentation Strategy to Promote Mammography Adoption.	Health Commun.	28	709-717	2013
工藤進英.	特集 安全かつ効率的な大腸ESDを目指して 序説	INTESTINE	17 (1)	5-6	2013
工藤進英、渡邊大輔、池原伸直.	総説 大腸癌の内視鏡診断・治療	日本大腸検査学会雑誌	29 (2)	29-40	2013
工藤進英、久津川誠、児玉健太、若村邦彦.	特集：“鎮静”をマスターする〔下部消化管内視鏡〕 病院における鎮静	消化器内視鏡	25 (4)	559-562	2013
工藤進英.	超 拡 大 内 視 鏡 (Endocytoscopy)による大腸腫瘍の診断法	日本消化器内視鏡学会雑誌 Gastroenterological Endoscopy	55 (4)	1510-1517	2013
工藤進英.	特集 ここまで来た IEE-NBI/BLI の意義と位置づけ 序説	INTESTINE	17 (3)	213-214	2013
工藤進英、杉原雄策、石田文生、宮地英行、木田裕之.	特集：遺伝性大腸癌の診断と治療の進歩 「症例 (1) 家族性大腸腺腫症の経過観察中にみられたIIa+IIc病変」	INTESTINE	17 (5)		2013
工藤進英.	特集 1：内視鏡とがん医療の過去と未来 下部消化管内視鏡の診断と歴史と早期病変の変貌	癌の臨床	59 (4)	363-370	2013

工藤進英、若村邦彦、森悠一.	TOPICS 超拡大内視鏡分類 (EC 分類) を用いた大腸病変の診断	INTESTINE	17 (6)	630-635	2013
工藤進英.	プラタナス:医療界も世界に目を向けて	日本医事新報	4672	1	2013
Hirai K, Harada K, Seki A, Nagatsuka M, Arai H, Hazama A, Ishikawa Y, Hamashima C, Saito H and Shibuya D.	Structural equation modeling for implementation intentions, cancer worry, and stages of mammography adoption.	Psycho-Onco-logy	22	2339-2346	2013
Satoh T, Matsumoto K, Fujii T, Sato O, Gemma N, Onuki M, Saito H, Aoki D, Hirai Y, Yoshikawa H.	Rapid genotyping of carcinogenic human papillomavirus by loop-mediated isothermal amplification using a new automated DNA test (Clinichip HPV-TM).	Journal of Virological Methods	188	83-93	2013
Ishikawa Y, Zheng YF, Nishiuchi H, Suda T, Hasumi T and Saito H.	Classification tree analysis to enhance targeting for follow-up exam of colorectal cancer screening.	BMC Cancer	13	470	2013
Harada a K, Hirai K, Arai H, Ishikawa Y, Fukuyoshi J, Hamashima C, Saito H & Shibuya D.	Worry and Intention Among Japanese Women: Implications for an Audience Segmentation Strategy to Promote Mammography Adoption.	Health Commun.	28	709-817	2013
European Colorectal Cancer Screening Guidelines Working Group: [ von Karsa L, Hamashima C, Saito H, et al ]	European guidelines for quality assurance in colorectal cancer screening and diagnosis: overview and introduction to the full supplement publication.	Endoscopy	45(1)	51-59	2013
斎藤 博.	胃がん検診に関するエビデンス	Medicina	50(11)	480-487.	2013
斎藤 博、町井涼子、高橋則晃、雑賀公美子.	大腸がん検診のエビデンスと今後の展望	日本消化器病学会誌	111	453-463	2013

山野泰穂.	上部・下部消化管内視鏡検査 大腸腫瘍診断（通常光、IEE、 拡大）. 消化器内視鏡 プロ フェッショナルの技 上級者 へのステップアップのために （第83回日本消化器内視鏡 学会総会記念）	（日本メデ ィカルセ ンター）		46-51,	2013
山野泰穂.	特集 ここまで来た IEE- NBI/BLI の意義と位置づけ II 大腸病変診断・治療のアル ゴリズムにおける NBI/BLI の 意義と位置づけ—私はこう考 える（8）大腸拡大内視鏡に おける pit pattern 診断と NBI 診断の相違	INTESTINE	17 (3)	284-286,	2013
菅井有、幅野涉 、石田利之、杉本 亮、上杉憲幸、山 野泰穂、他.	大腸鋸歯状病変の病理診断と 分子腫瘍発生機序	病理と臨床	31 (11)	1218-1225.	2013
田中義人、山野泰 穂、他.	右側結腸における過形成ポリ ープからみた SSA/P との関連 に関する検討	胃と腸	48 (8)	1184-11907	2013
Ishida T, Suzuki A, Kawai M, Narikawa Y, Saito H, Yamamoto S, Tohno E, Sobue T, Fukuda M, Ohuchi N.	Randomized Controlled Trial to Verify the Efficacy of the Use of Ultrasonography in Breast Cancer Screening aged 40-49 (J-START): 76,196 Women Registered.	Jpn J Clin Oncol	44(2)	134-140	2014
齋藤 博、町井涼 子、高橋則晃.	死亡率低下を目指した大腸が ん検診の将来像	日本臨床	72(1)	15-21	2014

